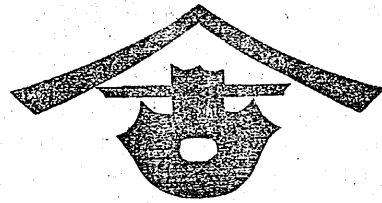


謹告

謹啓弊店儀永年各位の深厚なる御同情と御眷顧を辱うし洵に感佩の至りに堪へず候然るに今般時勢の進運に鑑み合名會社に組織を變更し明年一月一日より會社名を以て從前の營業相營み可申候間何卒舊に倍し御愛顧御引立を賜はり度奉希上候先は乍略儀以紙上舊來の御厚誼を拜謝し右御挨拶申上度如此に御座候 敬 具

大正十四年十二月



鹽屋 釀造元 山崎合名會社

代表社員社長 山崎與三郎
代表社員專務 山崎清三
本店營業部 一〇番
醸造工場 二七番
東京支店 淺草五七二八番

(追伸) 營業部目下當町字土橋通り(舊鹽屋吳服店跡)に建築中につき來春落成の上同所へ移轉數種食料品を加へ問屋業兼營可仕候

どんなチイサイ古い御寫真も弊舖に引伸せばたしかに良くなりませう

美術寫真引伸専門

齊藤寫真館

平町三丁目 電話三五九番呼出し

忘年會 特別 御勉強致候
平町松雲園池の端
小石川
電話三三六番

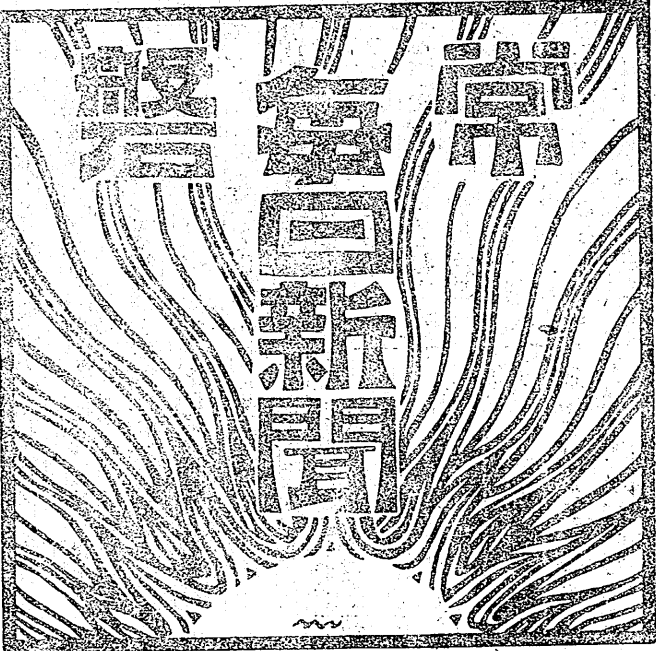
轉居

今般左記へ轉居仕候間此段御通知申上候

東京本郷區駒込上富士前町九十番地

白井遠平

電話小石川一七九



定価 一月五元 半年二十五元 一年五十元
廣告 一行五十字 一日一元 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元
印刷所 東京市本郷區常盤橋三丁目三番地
電話六三〇番

刊夕日八十月二十

常磐毎日新聞 娼婦化したる良家の女

白柳 秀湖

併しながら之を以て男子の放蕩が、近來著しく悪性を帯びて來たといふやうな觀察をするものがあつたならば、それは甚じき誤りである。何故となれば、男子の悪性は昔からのことである。男子には昔から機會があつたらしく、その身分の高いもの、種族の優れたものにその戀の對手を見出さうとする傾向があり、それが爲には生命を賭しても猛進する

京都産出瓦所販賣 有聲座隣
コーレス特約販賣

藤原パン

あらゆる階級の需要者に絶大の信用を頂いてゐる……

正札堂の既製洋服と羅紗物
例に依つて既製洋服と羅紗物は正札堂へお越し下さい
既製洋服 オールコート
マンダリン 中山外装 外装
紗物各種 常盤橋平町四丁目停車場
鐵道省私服用
常盤橋平町四丁目停車場
須藤房 敷

正札堂洋服店

安が堂札正は物紗羅と服洋

須藤房 敷

看護婦派出所

平町南町
の求めに應ず
平看護婦會
電話三〇七番

「他ノ藥ニテ効能無キ御方ハ龍功散ヲ吞ンデ卓絶スル登録 効能ヲ御試下サイ」

龍功散

商標 たんせきの妙藥
せんそくの妙藥
本舖 渡邊龍功堂
平町三丁目電話百八番

忘年宴會

大、小、に不拘特に勉強致しますから
相變らず御用命を御願申上ます

平 驛 前

丸新館

電長二二二番

といふやうな深刻味さへあつた男子が花柳界の婦人で満足して居たのは止むを得ざるに出でたことで、若し機會が許せば、少しでも身分の高いもの種族の優れたもの、然らざれば純粹無垢のもの、之を其戀の對手として見出さうとする。之は悪性でも何でも無い。男子の性慾に具はる本來的のものである。

如何に放蕩無節制な男子があつても、恣にその毒牙を良家の子女に向け、その貪婪飽く所なき欲望を満すことの出来なかつたのは、其社會の秩序を維持する徳道に尙は幾分の權威があつたからである、社會の事實がまだその時代の道徳を無効のものとするほどに成長して居なかつたからである。諸侯の威力を以てしても、百萬長者の財富を以てしても、限りなく良家の子女を犯し、恣に人の妻を姦すること許されなかつた。彼等は止むことを得ずして、『面倒のない』『後腹の痛まぬ』『賣笑婦人に満足した。さうして其負惜み根性から心身ともに荒み果て、女性としての主要な機能をさへ失つて居る賣笑婦人に、所謂素人以上の美點を見出さうとしてさまじい能書を附加へた (つゝ)

發行兼編輯人 川崎文治 本社下町同濟地(電話六三〇番) 印刷所 常盤橋毎日印刷所

一萬圓紛失事件は 捜査方針を變へて

手懸りを得たか

百七銀行の一萬一千圓紛失事件につき各警察當局は本件發生以來鐵道乗務員の制動手を中心として七海歩を進めて来たが拾六日までに各捜査隊の捜査報告を綜合すると犯人は乗務現業員以外にあるもの、如く信すべき端緒を發見し俄に捜査方針を

變更し

あらためて大活動を開始した結果として七海喜義に對する疑ひは全くはれたもの、如くしか未だ同人を釋放するまでの程度に捜査が進んでゐないため單なる参考人として郡山驛構内會議室に特設せる捜査

本部に

留置し捜査主任中野警部補が晝夜刻々と各方面の捜査隊から飛來せる捜査報告を手にせる毎に七海を訊問し或は鐵道關係者の意見を徴し臨機應變の

處置を

とつてゐるなほ磐越東線沿道各警察署でも萬策つきて十六日付縣下各警察署に對し一萬一千圓入の赤木綿の袋に銀行のマークの下に横に「百七」と大書せる雛形すりの犯人さう査依頼狀を發送した

大活動を開始

チラホラ

昨夜の初雪

本年は例年にならぬ暖かきで毎日ホカホカとした天氣が續き一向冬らしい氣分がせず陽氣に欺かれて櫻の花が浮かれ出すところさへあつたが平地方は十六日夜來から天氣模様が變つて湯の嶽嵐が漸く寒さを告げて來たところ十七日夜チラホラと初雪を見漸く師走らしい感じを與へた

實補校の

改善が急務

石城の現況

石城郡下各町村の實業補習學校は、農閑期になつたの至相前後して昨午授業を開始しつゝあるがこれ等諸學校中わづか一部分を除く外縣

準則に

よるものなく青年團各分團小學校等が提携のもとに青年夜學會として廿名ないし六十名位の會員で算術國語等の學科のみ教授し寺小屋式のもの少なからず進歩せる他町村のそれには比すべくもあらず

郡學務

當局及び町

村教育關係者青年團等會合の度毎に補習教育の改善が話題に上るに至つたが青年それ自身のかん境が極めて難然たるものあるによつて統一に困難なるものとして改善策はゆき惱んでゐるが郡の教育

關係者

はこれに對し郡下の補習校をして縣準則によらないとは遺憾な事

救世軍が街頭に叫ぶ

貧困者救済の聲

慈善鍋に惠まる、人倍加

平救世軍では本年も恒例により陰曆師走二十四日頃より慈善鍋を始め等であるが昨年は平驛前警察署前平銀行前の三ヶ所に設け四日間の喜捨金額總計八十餘圓で同軍で調査した三十餘戸の貧家に對し併其他を配附したが本年度の分配すべし家は目下調査中なるも昨年の三十名に比し時節柄該當者は殆ど約倍數に達するであらうと見られてゐるので本年は之が期間を延長し全力をそゝぐ方針である



みかんのゼリー

これはお正月休みに嬢さん達のおなごさまにこしらへても面白いでせう。まづみかんの絞り汁のことしたのを

二合五勺ばかり拵らへておさまして、別に熱湯をそれと同じ量だけとお砂糖十五匁、ゼラチン十五匁をそれ

ておいてその中に煮ておいた物を布を通してこし込みます冷めた時に冷たい水で洗つた型の中に流すのです

である、農村の補習校らしいものを形造らうと堅苦しい考へを持つからなか／＼難産ともなるが一步進んで關西地方の

都市に

見るが如き乙種程度の實業學校にも比すべき内容のものをつつたなら商業に従事する青年も眞に修養のため入學を希望するに相違ない語である

信用組合

平町の

貸付現在十一萬

有限責任平町信用組合は、大正五年創立以來その成績逐年見るべきものあり現在加入者六百五十人口數二千七百四十口に達しあるが最近縣產業課渡邊技手及尾形石城郡地方產業主事等が應崎監事三井理事會の下に検査したる成績左記の如く所謂庶民銀行として少からず貢献しつゝあるもの、如くである (十二月四日現在)

石城漁獲高

四倉のみ増加

石城郡下における沿海主要町村の本年度第三期漁獲高(七月から九月迄)を聞くに(一)出資拂込金五萬四千六百五十六圓四錢(二)貯金三萬九千六百九十七圓六十七錢(三)戸別積立金一萬二千四百八十九圓十錢(四)中央金庫拂込金八百九十八圓九十錢(五)聯合會出資拂込三千六百六十圓六十八錢(六)貸付金利息九千九百九十四圓三十六錢(七)借入金八百圓(八)銀行預金四千七百十三圓(九)現金千四百八十圓(一〇)貸付金十一萬四千廿五圓(一一)貯金利息千三百六十五圓(一二)組合經營費千七百廿九圓

募集

文藝其他投稿を募集します

私はその事にはしませんと訴へ出たので富澤檢事が取調へると右は前記仁太郎の實兄徳太郎が仁太郎の偽名で服役して居た事判つたので大狼狼を爲し、十六日午後徳太郎を取調へると同人は明治四十四年七月二十五日福島區裁判所で盜竊罪で懲役四月、大正三年九月懲役八月で同五年十月懲役一年、大正七年には一年八月同十年には三年と何れも盜竊罪にて懲役に處せられたが凡そ弟の名義で行つた事が判明したので、更に一年半の重加懲役を言ひ渡された

忘年會の賑ひ

不景氣風は

何處を吹く

時節樹各方面の年末賞與が前年比々幾分減少の傾向あり處から料理屋藝妓屋あたりに書き入れの年中行事たる忘年會なども著しく減少して、さらだに吹きこける不景氣風に一段の甚だしさを加ふるであらうと各方面から悲觀され

未だ現物を

手にせ

ぬ一部でさへ全然既定の事實として捕らぬ狸の皮算用的な忘年會を殊の外勇敢に開催する向きが決して少いわけでもなくすでに湯本温泉の松柏館山形屋或は平町谷口、末廣、大貞、尼子亭、大和家、松本、丸新館住吉屋其他炭礦

下落的の一方

一駄廿七圓

石城地方における米價は

不良兒に苦む

哀れな一家

平町の字柳町居住土工通稱渡邊竹次郎事推名定次郎(六)が本年拾歳の亡妻の私生兒神尾吉郎をからめて去大正拾二年八月以來身動きのならぬ脊髓症に罹り軒傾く六疊の借家に全く天涯孤獨の境遇で呻吟してゐたが三年に亘る病弱は漸く世に

兎の耳

弟の名前で入獄

郡山市當時高崎市宮本町一七職工柳沼仁太郎(三)は去る九日盜竊罪に依り高崎區裁判所で懲役六月を言ひ渡され前橋刑務所にて服役中であつたが十五日高崎檢事局に右盜竊犯人と同姓名名の柳沼仁太郎が出張し、

私はその事にはしませんと訴へ出たので富澤檢事が取調へると右は前記仁太郎の實兄徳太郎が仁太郎の偽名で服役して居た事判つたので大狼狼を爲し、十六日午後徳太郎を取調へると同人は明治四十四年七月二十五日福島區裁判所で盜竊罪で懲役四月、大正三年九月懲役八月で同五年十月懲役一年、大正七年には一年八月同十年には三年と何れも盜竊罪にて懲役に處せられたが凡そ弟の名義で行つた事が判明したので、更に一年半の重加懲役を言ひ渡された